



英知  
誠実  
健康

学校だより

若鷹

尾張旭市立旭中学校

令和2年度 6月号

## コロナ禍に思うこと

校長 松本浩一

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に伴う臨時休校が突然3月に始まりました。その後、学校再開かと思うと、何度も休校期間が延長され、ようやく学校を再開できるようになりました。分散登校を経て、子どもたちが登校できる日々がようやく戻ってまいりました。臨時休校期間中、保護者の皆様には、本校の教育活動、生徒の健康管理へのご理解、ご協力をいただきありがとうございました。学校再開後も、子どもたちの健康安全、心のケアに細心の配慮を行いながら、学校での新しい生活様式的确立、遅れた学習の指導に努めてまいります。

感染の可能性は日常生活のありとあらゆる場所に広がり、誰もが感染する可能性がある状況になりました。人々の思いやりや優しさのベースになる、人と人との関わりや繋がりは次々に断ち切られました。「密閉、密集、密接を避ける＝人との接触を断つこと」が求められました。オンライン〇〇と、情報通信を活用して、社会を維持する様々な工夫がされていますが、それでも、医療をはじめ、福祉、小売、飲食など、社会を構成する様々な産業、業種が危機的状況になりました。人が繋がり、人が動くことでお金が動き、経済が成り立っていることを痛感しました。夏の甲子園をはじめ様々なスポーツや文化的な行事も中止になっています。社会を支えるために、人と人との関わりや繋がりが、いかに重要であるかがわかります。

このコロナ禍に直面して、人々が求め社会を成り立たせるいちばん大切なものは、人と人との関わりや繋がりにあるということが本当によくわかりました。学校が長期間休校になり、早くみんなに会いたいと思っていたのは、私だけではないと思います。

今後、学校では「密閉、密集、密接を避けた」教育活動を進めていくことになります。今まで当たり前のように行われていた教育活動ができなくなります。でも、大切なことは「関わり、繋がりに」です。たとえ向き合って話ができなくても、「心と心の密」は大切にしていかなければなりません。

今は大変ではあるけれど、決して屈することなく、3月にはみんなで「よく頑張った！」と笑顔で終われる1年にしたいと思います。



## 貢献

休校期間中に、「自分にできることは」と考えて、手作りマスクを市に寄付した人がいます。マスクに手紙が添えられていたようですが、読ませてもらいました。旭中の教育目標の一つに「貢献」があります。まさに、それを実践できた心がとても嬉しいです。

### <市役所の方々へ>

いつも私たちのためにお仕事をしてくださり、本当にありがとうございます。学校が休校になり、一気に新型コロナウイルスの話題で持ちきりになりました。自分にできることはないかと考えた結果、手作りでマスクを作ることを思いつきました。男性用、女性用、子供用合わせて50枚作りました。もし、まだマスクが必要な方がみえれば、使っていただけたらうれしいです。

1日でも早く新型コロナウイルスが収束することを祈っています。

私にできることはこのくらいしかありませんが、役に立てればうれしいです。

## 体操服登校についてのお知らせ

新型コロナウイルスの流行により、厚生労働省から「新しい生活様式」が示されています。感染リスクを少しでも下げるために、毎日洗濯することも大切です。制服は洗い替えが難しく、特に梅雨の時期に乾ききらないということも考えられます。そこで、今年度は新型コロナウイルスの流行が終息するまでの当面の間、市内三中学校で体操服登校を認めることとなりました。体操服登校をするにあたって、次の事項を守ってください。

- ・ 制服で登校するか、体操服で登校するかは各自で判断する。
- ・ 始業式や終業式などの式、文化発表会など制服で行う行事のときは、必ず制服を着用する。
- ・ 制服を着用するときは、今まで通り左胸に名札を付ける。
- ・ 上は体操服で下は制服のズボンというように、上下で違う服装は着用しない。
- ・ 汗をかくなど衛生面を考え、体育の時間が終わった後は、制服か新しい体操服に必ず着替え直す。
- ・ 部活動のTシャツなど制服や体操服以外の服装で過ごさない。

体操服登校は新型コロナウイルス感染症予防対策のために行うもので、特別な対応となります。新型コロナウイルスが終息し、通常通りの制服登校のみに戻す際には改めて連絡します。よろしくをお願いします。